管機連Daily News

2026年9月30日（水）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆景気「緩やかに回復」維持 9月の月例経済報告、自然災害の影響注視

・政府は9月の月例経済報告で、国内の景気判断を「緩やかに回復しているが、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある」で据え置いた。「緩やかに回復」との見方は25カ月連続で維持。世界的なAI・半導体需要が背景にある。内閣府の担当者は「半導体製造装置などの生産用機械が上向いている」と説明。設備投資も「持ち直している」との判断。

◆大企業製造業の景況感、AI需要で改善予測 日銀9月短観の民間各社

・日銀が10月1日に発表する9月の全国企業短期経済観測調査（短観）の民間エコノミスト予測がほぼ出そろった。大企業製造業の景況感を示す業況判断指数（DI）の予測中心値はプラス25と、前回の6月調査から3ポイントの改善を見込む。大企業製造業の業況判断DIの予測幅はプラス23～28だった。改善すれば6四半期連続となる。

◆民間平均給与487万円、2年連続で最高更新 賞与は74.9万円で微増

・国税庁は2025年分の民間給与実態統計調査の結果を公表。民間企業で働く人が1年間で得た給与は平均で487万円（前年比1.9%増）となり、2年連続で過去最高を更新。平均賞与は74.9万円で、前年から0.3万円増加。民間平均給与の増加は5年連続。各業種における賃金の引き上げなどが影響した可能性。男性の平均は597万円、女性は342万円。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆日本企業の生成AI利用率、OECD平均の半分未満 労働経済白書

・厚生労働省は2026年の労働経済の分析（労働経済白書）を公表。日本企業の生成AI（人工知能）の利用率は9.2%で、経済協力開発機構（OECD）加盟国平均の20.2%の半分未満にとどまると指摘。OECDのデータベースで各国の従業員10人以上の企業の状況を集計。個人の直近3カ月の利用割合も日本は26.7%とOECD平均の36.8%を下回った。

◆10月電気代、補助金切れで全社が過去最高に 北海道などは1万円超

・10月に使う家庭向け電気代が過去最高となる。大手電力10社が発表した。夏場の政府による電気・ガス代支援が終わり、燃料高の影響が直撃する。中東緊迫によるエネルギー調達の混乱が家計の負担を重くする。「燃料高の影響は2027年度にかけて長期間、電気代に反映されるだろう」。第一ライフ資産運用経済研究所のエコノミストが指摘。

◆企業の4割「正社員不足」 半数が中途で管理職採用、民間調査

・マイナビが発表した「中途採用実態調査2026年版」によると、正社員が「不足している」と答えた企業は4割に上った。21年の調査と比べると、管理職の不足が目立った。中途採用業務の採用費用管理や運用に携わる人事担当者を対象とし、1600人から回答を得た。直近半年間での正社員の過不足について、「不足している」と回答した企業は43.5%だった。

≪ 注目商品 ≫

■YKK AP、「リウッドデッキ」の施工性向上

・再生木デッキ「リウッドデッキ 200 EG」「リウッドデッキ 200」をリニューアルし、「リウッドデッキS EG」「リウッドデッキS」として発売。高い耐久性と安定した使い心地はそのままに、施工性と仕上がりの美しさを向上。剛性を上げながら熱反りに配慮した仕様に変更。



■ミラタップ、スチール製フレームの洗面セット

・コンパクトな洗面ボウルにオリジナルのフレームを組み合わせた洗面セット。スチールパイプ製のフレームは、丸みを帯びた柔らかな形状が特徴で、浮遊感のある優しい印象に仕上げた。フレーム下部はタオル掛けを兼ねる機能的なデザイン。



■三協アルミ、太陽電池一体型アルミ手すり

・ビル・集合住宅向けに、太陽電池一体型アルミ手すり「FINEMASTERSOLA（ファインマスターソラ）」を発売。中低層から高層まで対応可能なアルミ手すり製品「FINEMASTER（ファインマスター）」をベースに、様々なメーカーの太陽光パネルを組み込める太陽電池一体型アルミ手すり。

